

部コード	09	部名	水道局	部長名	古谷 靖
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標[安全][強靱][持続]の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に掲げる6つの基本方針に基づき、主に次の取り組みを実施します。</p> <p>[安全]</p> <p>1. 良質な水道の維持 「我孫子市水道事業水安全計画」を水道水の供給過程における総合的な水質管理とリスクマネジメントに活用し、水質検査を的確に実施すると共に高度浄水処理施設及び連続自動水質監視装置の保守点検を行います。また、自己水源(深井戸)の計画的な機能保全を図るため「取水井維持活用方針」に基づき井戸内部のテレビカメラ調査を行います。</p> <p>[強靱]</p> <p>2. 施設強靱性の維持 浄水場の各種設備に係る改良事業は、適正規模での設備更新と長寿命化に向けた計画的修繕工事を併せて進めるため、令和元年度から3か年継続事業としている湖北台浄水場系取水井遠方監視制御設備更新工事や高度浄水処理設備オゾン発生装置更新工事を行います。また、水道管路整備では、経年劣化配水管路の耐震化を図るための布設替え工事を行います。</p> <p>3. 災害対応の強化 日本水道協会合同防災訓練や県内水道事業体間における各種情報伝達訓練への参画のほか、市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内職員の事故対応訓練を行います。</p> <p>[持続]</p> <p>4. 水道事業の継続性確保 「我孫子市水道事業アセットマネジメント」の活用により、中長期的な施設更新需要と財政収支を見通し、安定的な事業運営の評価を行います。また、水資源の適正運用に向けて、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源(深井戸)の運用コストや災害時等の対応を踏まえた取・受水管理に取り組みます。このほか、浄水有効利用のための漏水調査の実施等、継続的な漏水防止対策事業に取り組みます。 業務効率化方策は、今年度から業務を更に拡充してスタートする「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、一層のお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、組織力強化のために職員人材育成を体系的に実践します。</p> <p>5. 財政健全性確保 「我孫子市水道事業経営戦略」の投資・財政計画に基づき、企業債の活用による費用の平準化を図ります。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の検討 水道事業経営に関わる運営手法や水道への再生可能エネルギー導入等について、最新知見や先進事業者の動向に注視します。</p>				<p>我孫子市水道事業ビジョン3つの基本目標、我孫子市水道事業基本計画の6つの基本方針に沿って事業を実施した。このうち、特に施設強靱性の維持では、計画されたこうしんこうじょうをすいしんした。また、災害対応の強化では、各種訓練のほか、水源トラブルが発生した南房総市での応援給水活動を行い、災害現場での対応力を強化した。財政健全性の確保に関しては、「我孫子市水道事業経営戦略」に基づき、地方債の借入を行った。水道事業の継続性確保では、料金給水会計業務及び浄水場系包括委託について当年度から新たに5年間の委託が始まったが、今後も民間のノウハウを活かしながら業務を進めていく。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				運営方針に掲げた目標は概ね達成できた。将来に向け、水道事業の継続性を確保していくためには、今後とも包括業務での官民の効果的な連携を進めていくとともに、若手職員を中心に体系的な人材育成を実施していく必要がある。	

課コード	01	課名	経営課	課長名	嶋田 繁
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』の施策に係る計画事業の着実な執行を図ります。</p> <p>■水道事業基本計画(10カ年)が円滑に進むよう、計画に掲げた事業の適切な進行管理を行う。財政面では収支バランスに留意しながら、適宜アセットマネジメントを活用して収支見通しを把握する。</p> <p>■日常的な財務・会計管理、庁舎・公用車の維持管理、各種調査や統計等の調製、広報活動、組織・職員管理、局内庶務等については、年間計画に沿って執行していく。</p> <p>■料金徴収事務、給水工事に関する業務については、新たな包括委託のもと、受託事業者に必要な指導・助言、事務監理を行いながら円滑に進める。また、漏水調査を効果的に実施して無効水量の抑制を図るほか、貯水槽水道の適切な管理促進にも努める。</p> <p>■料金・給水・会計業務の包括委託を進めるにあたっては、官民連携によりお客様サービスの向上と業務効率化を図る。特に、新たに導入する指定給水装置工事事業者の更新制については、受託事業者と協議しながら適正な事務執行体制を築いていく。</p> <p>■災害対応の強化では、災害等への即応能力向上のため、市の総合防災訓練などで市民参加の応急給水訓練を行うほか、水道局独自の訓練も実施する。また、日本水道協会や近隣事業者とも訓練等を通じて連携強化を図る。</p> <p>■人材育成については、将来の水道事業を担う職員を体系的かつ継続的に育成するため、業務内で指導をするほか、外部研修も積極的に活用する。</p> <p>■施設更新工事に活用するため、企業債の借入事務を遅滞なく行う。</p> <p>■水道分野の新しい技術や有用な事業運営手法について、導入にむけた検討をするための調査・研究を行う。</p>				<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部業務が影響を受けた(※)が、水道事業運営に係る事業の大部分については問題なく執行できた。 (※滞納整理では給水停止を行わないなど、通常と異なる方法で対応した。また市民参加の応急給水訓練や水道水のPRイベントなどは実施できなかった)。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>事業の推進にあたっては局内で定期的に情報共有を行うとともに、災害対応などの際に局内横断的に連携して対応できる体制を維持する必要がある。包括業務委託においては、受託事業者と円滑に意思疎通を図れるようにし、互いに協力しながら業務改善が図れる体制を築いていく。また、将来の水道事業を担う職員の育成は喫緊の課題である。業務に必要な知識と経験を、ジョブオプトレーニングにより継承できる機会を作る工夫をするとともに、経験則を形式知とするための事務マニュアルの整備(作成・更新)を進めていく。</p>					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長) 長期的な水道需要の減少が生じているが、一方で老朽化した水道施設の更新は喫緊の課題である。水道事業の経営基盤強化のためには、新技術の導入なども含め業務の見直しを行っていく必要がある。人員も限られる中、包括委託受託者とも連携しながら、効率的な事業運営に取り組んでいく。</p>	<p>(部長) 水道事業の経営環境は厳しさを増しているが、水道施設の更新工事の推進、大規模災害への対応、若手職員の人材育成など、取り組むべき課題は多い。今後は水道需要を喚起する取り組みを行いながら、業務の効率化により費用削減を図るなど経営基盤の強化を図っていく。</p>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)		重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
1	契約事務	重無	62302	公募型一般競争入札契約率(公募型一般競争入札契約件数/全契)	%	26.67	30	39.65	132.17	現状
2	出納管理	重無	62302	不備伝票処理件数	件	55	55	50	110	現状
3	広報活動推進	重無	62302	あびこの水道配布数/世帯数	%	100	100	100	100	現状
4	料金の調定・徴収・収納	重無	62302	収納率	%	95.4	96	96.14	100.15	現状
5	水道事業計画の進行管理	重無	62302	当該年度執行事業件数/当該年度計画事業件数×100	%	100	100	100	100	現状
6	庁舎維持管理	重無	62302	実施件数/管理保守の予定件数	%	100	100	95	95	現状
7	組織・人事管理	重無	62302	労働生産性=(営業収益-受託工事収益)/損益勘定所属職員数	千円	125,064	124,964	128,157	102.56	現状
8	資金管理	重無	62302	流動資産回転率: 営業収益-受託工事収益/(期首流動資産	件	0.6	0.61	0.57	93.44	現状
9	貯水槽水道の衛生管理指導	重3	62301	貯水槽水道指導件数	件	10	10	5	50	現状
10	指定給水装置工事事業者の審査	重3	62301	審査による指定率	%	100	100	100	100	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	給水装置工事監理	重3	62301	審査指導後の工事承認率	%	100	100	100	100	現状
12	量水器取替・修繕業務	重3	62301	メータ交換実績	%	100	100	99.3	99.3	現状
13	直結・増圧給水の普及促進	重3	62301	指導数	件	10	10	5	50	現状
14	給水装置の維持管理	重3	62301	給水装置維持点検・修繕数	件	80	80	99	80.81	結合
15	漏水防止事業	重3	62301	調査件数	件	2,500	2,500	2,500	100	結合
16	貯蔵品管理	重無	62302	貯蔵品(たな卸資産) 回転率=営業収益-受託工事収益/(期首た	%	128.21	134.14	129.38	96.45	現状
17	職員研修の推進	重無	62302	研修計画数	件	18	18	15	83.33	現状
18	料金・給水・会計業務等包括委託	重無	62302	評価基準による得点	点	450	480	448	93.33	結合
19	法務事務	重無	62302	制定及び改廃実施件数/制定及び改廃予定数	%	100	100	100	100	現状
20	公用車管理	重無	62302	点検・車検実施数/点検・車検予定数	%	100	100	100	100	現状
21	財産管理	重無	62302	財産の目的外使用に係る審査件数/申請件数	%	100	100	100	100	現状
22	予算編成	重無	62302	査定率= 予算の査定額/予算要求額	%	100	100	100	100	現状
23	決算調製	重無	62302	経営資本営業利益率=(営業利益/経営資本) × 100	%	△1.16	0	△0.93	0	現状
24	滞納整理及び給水停止処分	重無	62302	収納率の向上	%	99.94	99.95	99.93	99.98	現状
25	応急給水体制の充実	重3	62301	応急給水訓練を実施した自主防災組織等の数	回	4	4	0	0	現状

部コード	09	部名	水道局	部長名	古谷 靖
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標【安全】【強靱】【持続】の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に掲げる6つの基本方針に基づき、主に次の取り組みを実施します。</p> <p>【安全】</p> <p>1. 良質な水道の維持 「我孫子市水道事業水安全計画」を水道水の供給過程における総合的な水質管理とリスクマネジメントに活用し、水質検査を的確に実施すると共に高度浄水処理施設及び連続自動水質監視装置の保守点検を行います。また、自己水源(深井戸)の計画的な機能保全を図るため「取水井維持活用方針」に基づき井戸内部のテレビカメラ調査を行います。</p> <p>【強靱】</p> <p>2. 施設強靱性の維持 浄水場の各種設備に係る改良事業は、適正規模での設備更新と長寿命化に向けた計画的修繕工事を併せて進めるため、令和元年度から3か年継続事業としている湖北台浄水場系取水井遠方監視制御設備更新工事や高度浄水処理設備オゾン発生装置更新工事を行います。また、水道管路整備では、経年劣化配水管路の耐震化を図るための布設替え工事を行います。</p> <p>3. 災害対応の強化 日本水道協会合同防災訓練や県内水道事業体間における各種情報伝達訓練への参画のほか、市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため局内職員の事故対応訓練を行います。</p> <p>【持続】</p> <p>4. 水道事業の継続性確保 「我孫子市水道事業アセットマネジメント」の活用により、中長期的な施設更新需要と財政収支を見通し、安定的な事業運営の評価を行います。また、水資源の適正運用に向けて、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源(深井戸)の運用コストや災害時等の対応を踏まえた取・受水管理に取り組みます。このほか、浄水有効利用のための漏水調査の実施等、継続的な漏水防止対策事業に取り組みます。 業務効率化方は、今年度から業務を更に拡充してスタートする「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、一層のお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、組織力強化のために職員人材育成を体系的に実践します。</p> <p>5. 財政健全性確保 「我孫子市水道事業経営戦略」の投資・財政計画に基づき、企業債の活用による費用の平準化を図ります。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の検討 水道事業経営に関わる運営手法や水道への再生可能エネルギー導入等について、最新知見や先進事業者の動向に注視します。</p>				<p>「我孫子市水道事業ビジョン」の3つの基本目標、「我孫子市水道事業基本計画」の6つの基本方針に沿って事業を実施した。このうち、特に施設強靱性の維持では、計画された更新工事を推進した。また、災害対応の強化では、各種訓練のほか、水源トラブルが発生した南房総市での応援給水活動を行い災害現場での対応力を強化した。財政健全性の確保に関しては、「我孫子市水道事業経営戦略」に基づき、地方債の借入を行った。水道事業の継続性確保では、料金給水会計業務および浄水場系包括委託について当年度から新たに5年間の委託が始まったが、今後も民間のノウハウを活かしながら業務を進めて行く。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				運営方針に掲げた目標は概ね達成できた。将来に向け、水道事業の継続性を確保していくためには、今後とも包括業務での官民の効果的な連携を進めていくとともに、若手職員を中心に体系的な人材育成を実施していく必要がある。	

課コード	02	課名	工務課	課長名	山下 透
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標【安全】【強靱】【持続】の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に基づき、計画的な執行に努め進捗管理します。</p> <p>【安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いつでも安心して飲める良質な水道 <ul style="list-style-type: none"> ・水質管理業務 12,13取水井テレビカメラ調査業務委託等を行います。 ・浄水場系包括業務委託 ・浄水場施設の更新業務 湖北台浄水場系取水井遠方監視制御設備更新工事をR1からR3の継続事業として進めます。 ・適切な収受配水管理 <p>【強靱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな時も給水を続けるられる強くたくましい水道 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化 湖北台浄水場高度浄水処理設備No.2オゾン発生機更新工事を進めます。 ・経年劣化水道管路の更新改良、耐震化 根戸、船戸、白山、つくし野、古戸地区の更新延長5,399mの更新工事を進めます。 ・基幹水道管路の更新改良、耐震化 重要給水施設管路基本設計業務委託を行いません。 ・水道未普及地区の解消 ・配水管の新設拡張工事 ・配水管路自己施工工事の維持管理 <p>【持続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いつまでも地域のために在りつづける水道 <ul style="list-style-type: none"> ・管路情報管理システム運用 水道管路情報管理システムデータ更新業務委託を行います。 ・浄水場系包括業務委託 ・水道管路施設維持修繕 				<p>目標に掲げた全ての事業について、運営方針に沿って概ね執行することができましたが、下記二案件は個々の理由により未執行であったため、次年度に再発注或いは繰越事業となりました。</p> <p>未執行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質管理業務 12,13取水井テレビカメラ調査業務委託は、入札不調により契約できず未執行となったため、次年度に再発注します。 ・施設の長寿命化 湖北台浄水場高度浄水処理設備No.2オゾン発生機更新工事は、新型コロナウイルスの影響で工場制作に遅延が発生したため、工事期間を次年度まで延長(繰越)します。 	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> ・少数な現体制のもとでは、引き続き連携を強化し円滑な業務を進めることが必須である。 ・『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に基づき、令和元年度から、浄水場設備の更新を本格的に行なうため、高度な専門的知識、技術を有する人材を長期的な視野で計画的に人材を育成する必要があります。 					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 浄水場施設の更新業務	重3	62301	設備機器更新工事の進捗率	%	100	100	85	85	現状
2 浄水場系包括委託業務	重3	62301	浄水場における不具合修理件数/浄水場における不具合発見件数	%	100	100	100	100	現状
3 経年劣化水道管路の更新改良・耐震化	重3	62301	経年劣化管路・更新布設延長距離(m)	m	5,473	5,399	5,348	99.06	現状
4 水質管理業務	重3	62301	水質基準適合率	%	100	100	100	100	現状
5 配水管路自己施工工事の指導・検査	重3	62301	適正に審査・指導・検査を実施した件数	件	15	15	12	80	現状
6 配水管路の新設・拡張整備	重3	62301	配水管新設延長距離(m)	m	500	50	0	0	現状
7 水道管路施設維持修繕	重3	62301	維持修繕工事件数	件	50	50	36	138.89	現状
8 管路情報管理システム運用	重3	62301	データ更新距離(m)	%	5,973	5,449	5,348	98.15	現状
9 浄水場施設の維持管理業務	重3	62301	浄水場無事故割合(浄水場数-浄水場停止事故件数)/浄水場	%	100	100	70	70	現状
10 基幹水道管路の更新改良・耐震化	重3	62301	基幹管路耐震化基本設計延長距離(m)	m	6,720	9,860	10,610	107.61	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11 適正な取受配水管理	重3	62301	水源余裕率（確保している水源水量／一日最大配水量）-1）	%	36	35	36	102.86	現状